



個人投資家セミナー

2022年11月25日

三菱商事株式会社

免責事項

- ・本資料にて開示されているデータ、将来予測、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、本資料の発表日現在の判断や入手可能な見積、予想、期待に基づいています。これらは、さまざまな不確実性が内在しており、実際の業績は経営環境の変動などにより、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本情報は、今後予告なしに変更されることがあります。情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報と共に照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 社会貢献活動、身近な商品

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 社会貢献活動、身近な商品

数字で見る三菱商事

名称・設立



三菱商事株式会社
(証券コード：8058)
1954年 7月1日

グローバルネットワーク



国内および海外
約90カ国に拠点
2022年4月1日時点

連結対象会社数



子会社 1,290社
関連会社等 432社
.....
計 1,722社
2022年9月30日時点

連結純利益



21年度実績 9,375億円
22年度見通し 1兆300億円

総資産と時価総額



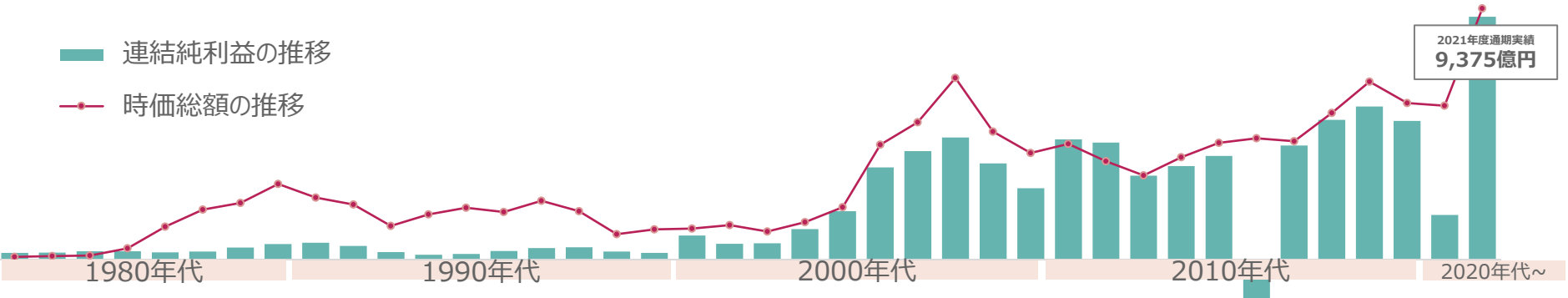
総資産 約23 兆円
2022年9月30日時点
時価総額 約6.4 兆円
2022年11月15日時点

配当と利回り

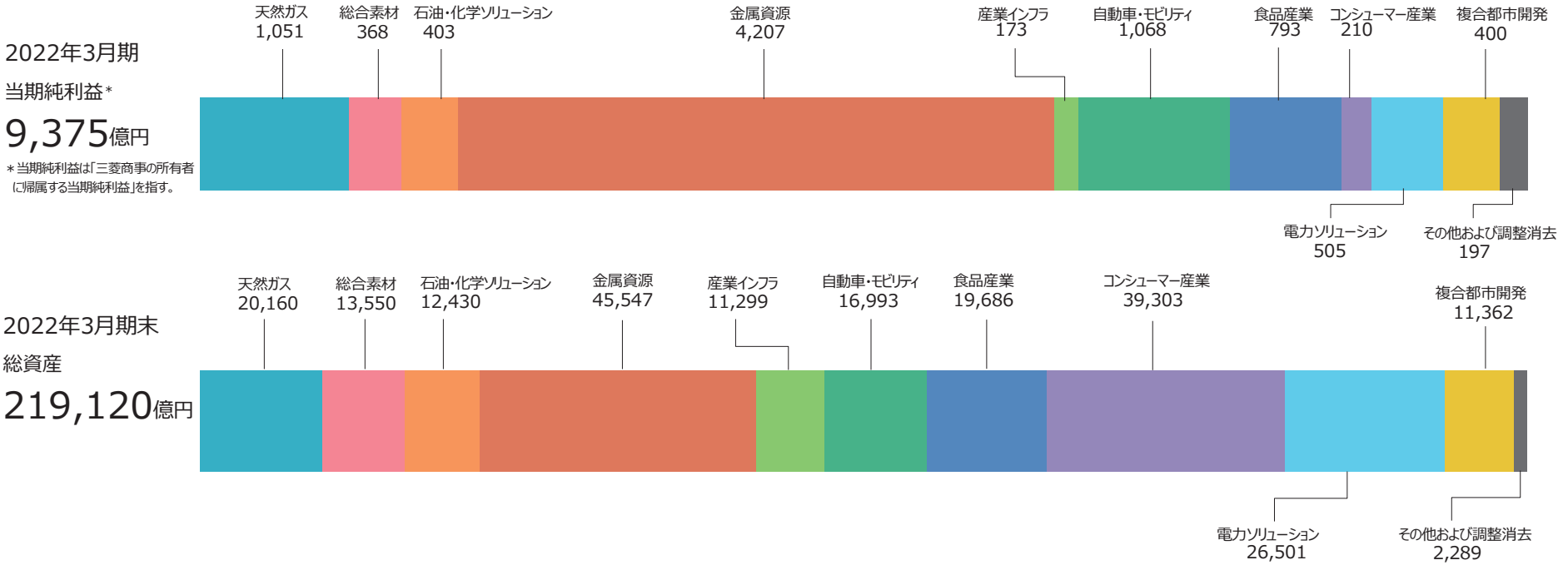


年間配当金 155円
配当利回り 3.58%
2022年11月15日時点

■ 連結純利益の推移
● 時価総額の推移



事業分野



1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

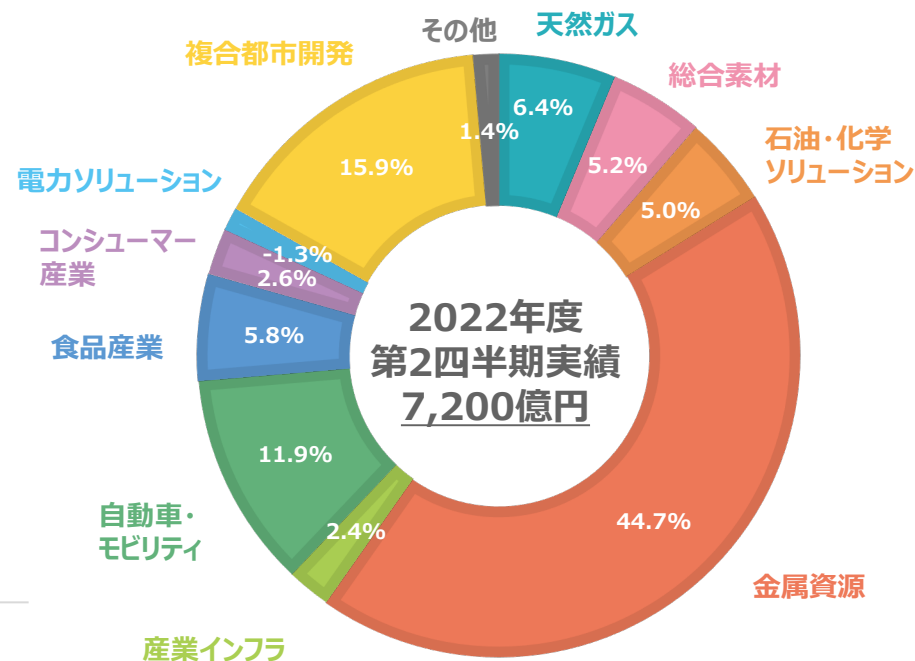
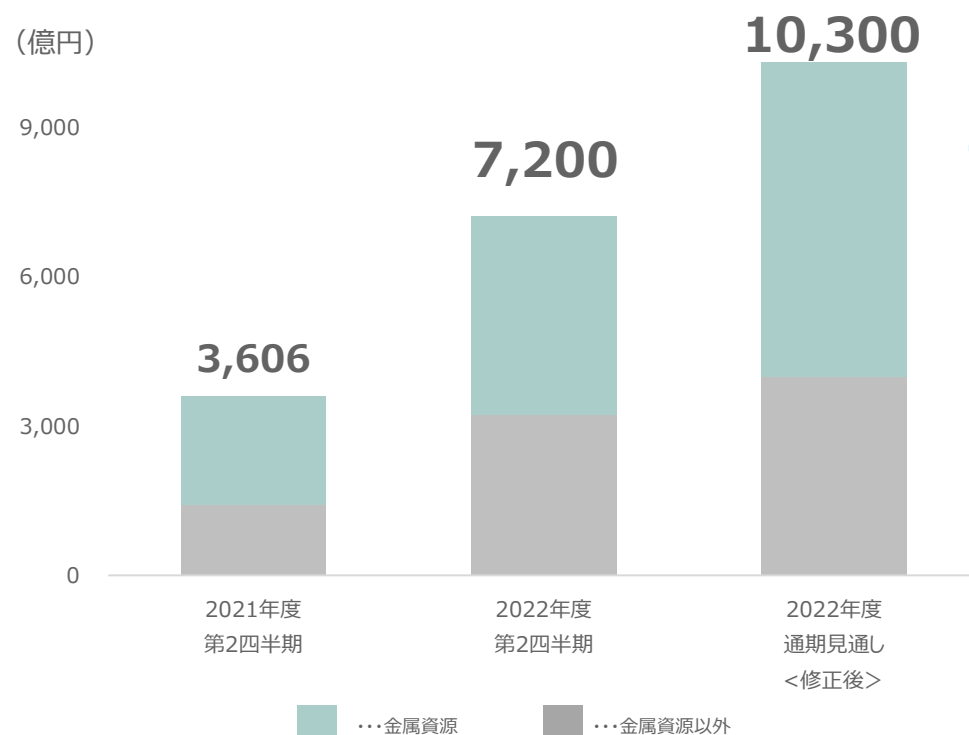
4 社会貢献活動、身近な商品

2022年度第2四半期実績

- 第2四半期として過去最高益を計上した前年同期3,606億円から倍増の7,200億円で、前年同期を大幅に上回る決算
- 金属資源、複合都市開発の売却益に加え、自動車・モビリティ、総合素材、石油・化学ソリューション等他セグメントも堅調に推移

2022年度通期見通し

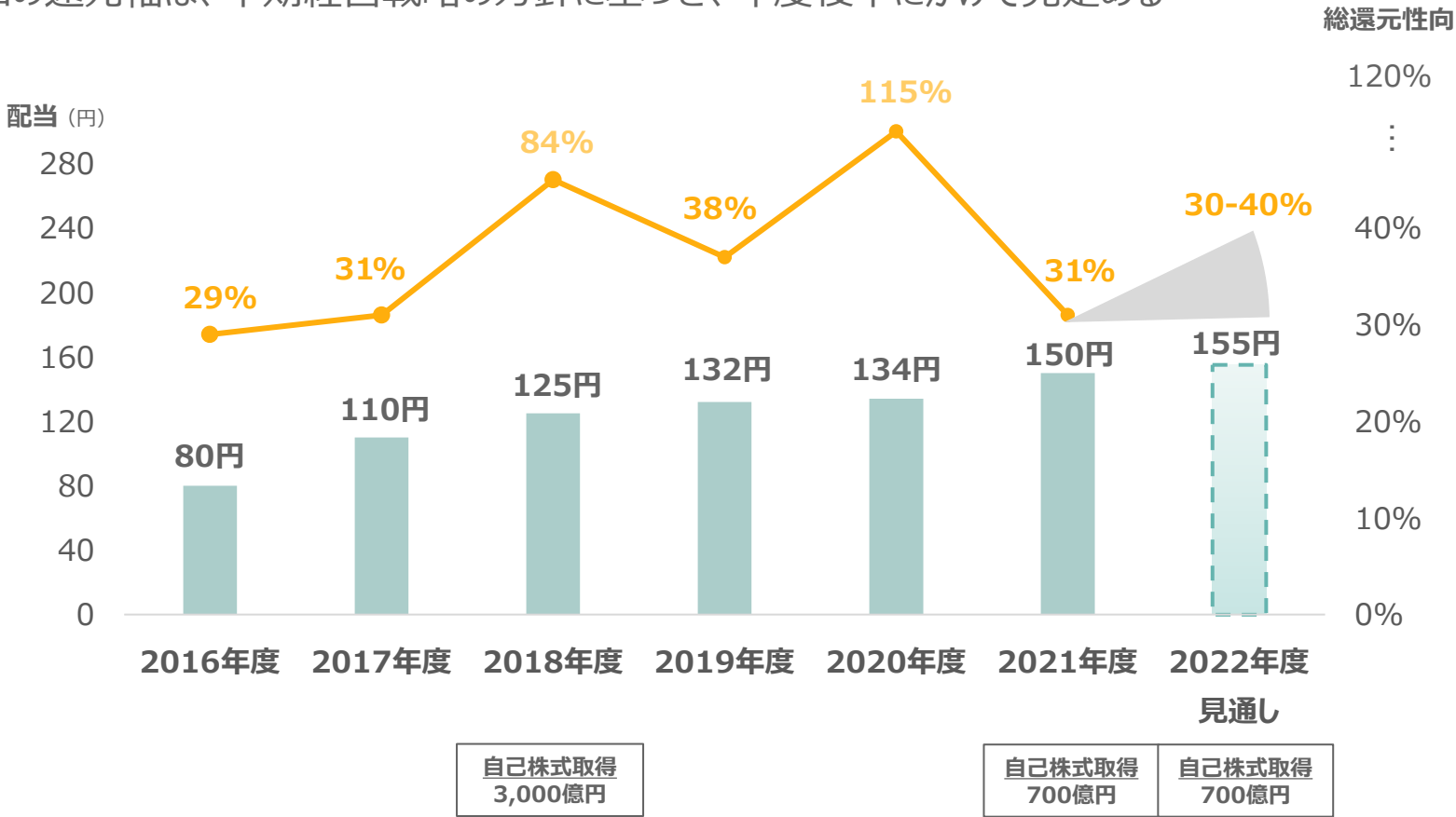
- 5月に公表した8,500億円から+1,800億円の1兆300億円に上方修正（当社初の1兆円台）
- 年度後半は世界経済の減速等を考慮し、下振れリスクは引き続き織り込む



株主の皆さまへの還元について

2022年度見通し

- 中期経営戦略2024に従い、配当・自社株買いを組み合わせ総還元性向30-40%目処を目指す
- 2022年度の1株当たり配当を150円から5円引き上げ155円とすることを決定
- 2022年度第2四半期に自己株式取得700億円を決定
- 追加の還元幅は、中期経営戦略の方針に基づき、年度後半にかけて見定める



1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 社会貢献活動、身近な商品

中経2024で
目指すこと

つなげ・つながること
三菱商事グループならではの総合力を最大化

MC Shared Value（共創価値）の創出

定量・還元

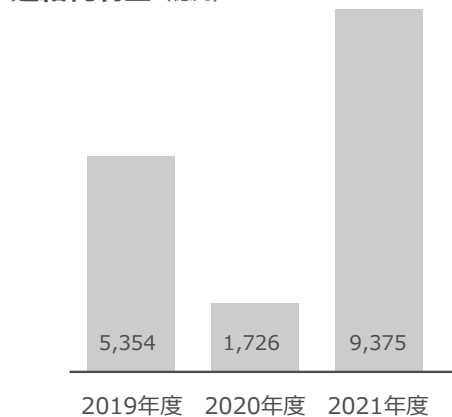
- ・ 価格要因を除いた利益の着実な成長、累進配当と機動的な自社株買いによる株主還元
- ・ 財務規律に基づくキャッシュフロー管理、将来の成長に向けた投資計画・事業ポートフォリオ

1	トランスフォーメーションを主導し、成長につなげる	成長戦略	■ EX戦略（脱炭素ソリューションプロバイダー） ■ DX戦略（リアルとデジタルの融合） ■ 未来創造（新産業創出／地域創生）
2	規律ある成長で未来へつなぐ	経営管理	■ 経営管理制度
3	多様なインテリジェンスをつなぐ	推進メカニズム	■ 組織体制 ■ タテ×ヨコによる総合力最大化 ■ 総合力最大化の推進メカニズム
4	多彩・多才なヒトをつなぎ、活気に満ちた組織へ	人事施策	■ 人的資本の価値最大化
5	多様なステークホルダーとつながり、社会から信頼され続ける存在へ	サステナビリティ施策	■ マテリアリティ ■ 「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」に関する取り組み

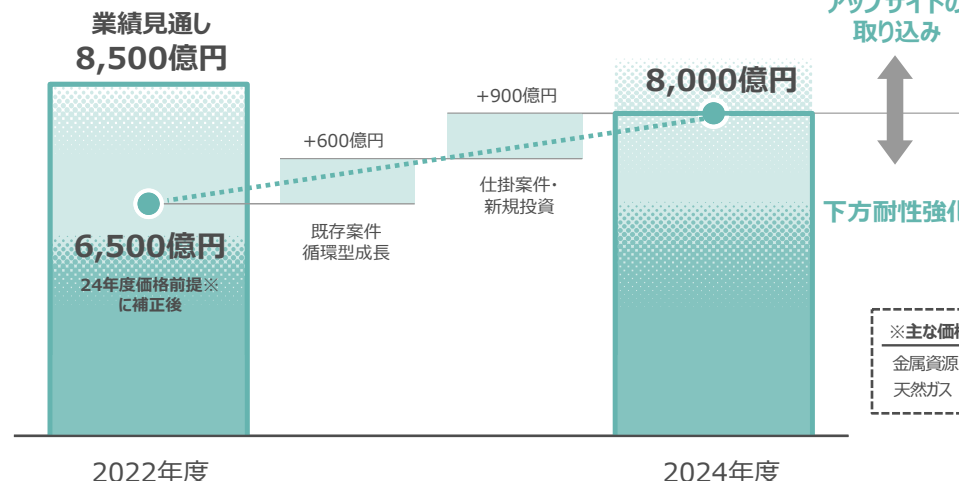
定量目標

価格要因を除いた利益の着実な成長

連結純利益（億円）



ROE 9.8% 3.2% 15.0%



※主な価格要因

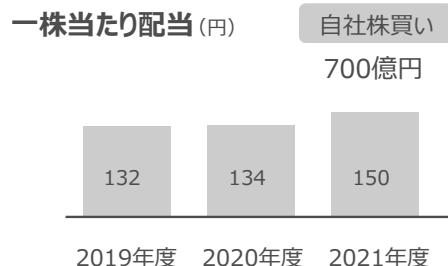
金属資源（原料炭、銅、鉄鉱石）
天然ガス（原油、ガス、LNG）

二桁水準

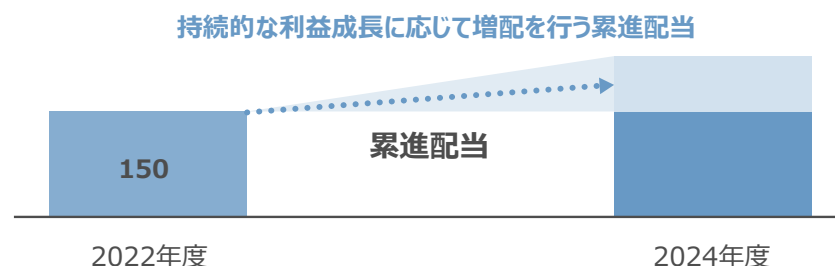
株主還元

財務健全性、配当の安定成長、株主還元に対する市場期待の3つのバランスがとれた還元政策

一株当たり配当（円）



自社株買い
700億円



● 30～40%程度の総還元性向を目標とした株主還元

● 自社株買いは財務規律の下で機動的に実施

※業績見通し/株主還元については、中経2024公表時点のもの。

中経期間で3兆円規模の投資を計画。EX関連分野への投資を加速。
同時に、収益基盤の維持・拡大とDX・成長投資関連分野への投資も着実に促進。

2022年度～2024年度の投資計画

分野	投資規模	中経2024の主な投資対象
収益基盤の維持・拡大	約1兆円	原料炭 食料 自動車 等 銅 天然ガス
EX関連	約1.2兆円	再生可能エネルギー 次世代エネルギー 電池材・ボーキサイト 等 (水素・アンモニア・バイオ等)
DX・成長投資関連	約0.8兆円	デジタルインフラ 都市運営 サプライチェーン最適化 都市開発 等



創出したCFを
将来の成長に向けて
EX／DX・成長投資関連に配分

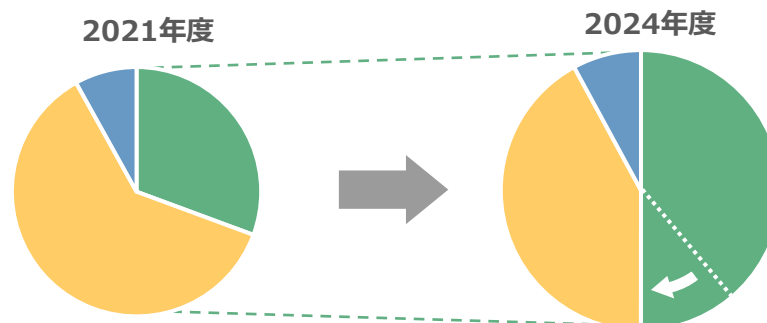
EX関連投資を加速

- 「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」で、2030年度迄に2兆円規模のEX関連投資を計画
- EX関連投資への加速を通じて、ポートフォリオを強靱化し、脱炭素化とエネルギー安定供給の両立を目指す

事業ポートフォリオ

(投融資残高内訳)

- 収益基盤の維持・拡大
- EX関連
- DX・成長投資関連



- EX関連事業ポートフォリオを、3割（2021年度末）から4割程度（2024年度末）に拡充
- 将来的には5割程度に引き上げていく

MC Shared Value (共創価値)の創出 そして未来創造

三菱商事(MC)グループは、社会やパートナーと共に、
社会課題の解決を通じて継続的な共創価値を創出し、新たな未来をつくっていきます。

脱炭素社会への移行、持続可能な社会と暮らしの実現、地域コミュニティの活性化——。
目の前にある社会課題の解決に向け、私たちの持てる総合力を発揮し、未来を創り出していく。
そのために「MC Shared Value(共創価値)の創出」という新たな目標を掲げました。
私たちが描く未来は、地域色豊かなコミュニティに人が集い、生き生きと働き暮らす社会です。
例えば、再生可能エネルギーを起点に、
地域に新たな産業を生み出せば雇用が生まれ、人々が集う街ができる。
デジタルの力で、エネルギー効率が高く、便利で活気あふれる魅力的な街をつくる。
私たちは、そのための取り組みを加速していきます。
「Create MC Shared Value」。
この決意をもって、社会課題に真正面から向き合い、
社会やパートナーと共に未来創造に挑戦し続けていきます。

最近の主なEX(エネルギートランスフォーメーション)・
DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組み

ペルー(ケジャベコ)銅鉱山の権益追加取得	2018年
DX戦略強化に向け MC Digital/Industry One設立	2019年/2021年
NTTとの産業DX推進に関する業務提携合意	2019年
再エネを主力とする(次世代型の) 総合エネルギー会社エネコ社への資本参画	2020年
HERE Technologies社への出資	2020年
欧州メジャー(Shell)と共同で 大型洋上風力事業権落札	2020年
CCU技術を有するカナダ CarbonCure社への 資本参画及び業務提携	2021年
中部電力ミライズコネクスト設立	2021年
インドネシアタンゲール LNGプロジェクト CCUS事業を含む開発計画の承認	2021年
シェルカナダとの 水素(アンモニア)製造に向けた覚書締結	2021年
アマゾン向け再生可能エネルギーを活用した 日本初長期売電契約締結	2021年
北海道電力と水力発電分野での 共同運営事業の開始	2021年
国内3海域(秋田県沖、千葉県沖) 洋上風力発電事業者への選定	2021年
ビル・ゲイツ氏の脱炭素関連ファンド Breakthrough Energy Catalystへの参画	2022年



詳しくはWebで



あなたによりそい、未来へのチカラとなる
つながる世界・広がる世界を提供し続けます

家族の絆やつながりを育む「くらしサービス」



見守り



家計相談



保険



お買い物



健康

世帯をまたがる家族へサービスをバンドルして価値提供



未来を創る



家族を育む



地域や人とつながる

・・・ 入学 卒業 就職 結婚 出産・育児 家購入 仕事 趣味 初孫 退職 ・・・



電力



ガス

既存インフラ事業販売支援

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 社会貢献活動、身近な商品

インクルーシブ社会の実現

主な活動

- ・母と子の自然教室 (1974～)
- ・DREAM AS ONE (2014～)
- ・子供の貧困支援 (2020～)等



母と子の自然教室



DREAM AS ONE.
(障がい者スポーツ支援)

次世代の育成・自立

主な活動

- ・MC International Scholarship (2000～)
- ・三菱商事アート・ゲート・プログラム (2008～)
- ・三菱商事高校生海外留学奨学金 (2019～)等



MC International Scholarship



三菱商事アート・ゲート・プログラム

環境の保全

主な活動

- ・熱帯林再生プロジェクト (1990～)
- ・サンゴ礁保全プロジェクト (2005～)
- ・「彌太郎の森」国内森林保全プロジェクト (2009～)等



熱帯林再生プロジェクト



サンゴ礁保全プロジェクト

災害支援

主な活動

- ・東日本大震災復興支援活動 (2011～)
- ・義援金・支援金による緊急支援
- ・社員による被災地でのボランティア活動 等



被災地でのボランティア活動



ふくしまワイナリープロジェクト
(東日本大震災復興支援)

サプライチェーンにおいて三菱商事が関係している身近な商品

三菱商事ライフサイエンス株式会社



かどや製油株式会社



日本KFCホールディングス株式会社



伊藤ハム米久ホールディングス株式会社



カンロ株式会社



株式会社ローソン



ウェブサイトのご案内

当社をより分かりやすく知っていただくため、
最新の決算情報をはじめ、様々な情報を掲載しています。

三菱商事 投資家情報



<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/>



最新の決算情報を掲載

個人投資家・株主向け
コンテンツも充実

ご清聴、誠にありがとうございました。